



公益社団法人 日本技術士会

情報工学部会の 役割と活動内容

平成23年12月2日(金)

公益社団法人 日本技術士会

情報工学部会部会長

嶋田 弘僧

技術士(情報工学、総合技術監理)



情報工学部会とは

日本技術士会では自己研鑽やヒューマン・ネットワーク構築を支援する様々な場を提供しています。「日本技術士会 情報工学部会」もその一つです。

情報工学部会は情報工学部門の技術士、技術士補、修習技術者の相互研鑽の場で、ほぼ月に1度、月例会を開催しています。月例会には他部門の方、および非会員の方も参加可能です。

情報工学部会は、情報工学に関する幅広い分野の技術を持ったプロフェッショナル技術者の集団として、産官学の連携や企業のIT化コンサルタント活動に積極的に取り組んでまいります。

(情報工学部会HPより)

情報工学部会



情報工学部会の現況

- 会員数(2011年11月28日時点)
- 名誉会員:6名、会員:664名、準会員:287名

- 会員率(2011年3月末日時点)
- 情報工学部門技術士登録数 1,709名 全部門登録数 71,797名
- 日本技術士会会員 625名 会員 13,658名
- 会員率 36.6% 会員率 19.0%

- 首都圏集中率(2011年3月末日時点) 全部門
- 首都圏の会員数 467名(74.7%) 6,454名(47.3%)
- 近畿本部 65名(10.4%) 1,700名(12.4%)
- 中部本部 37名(5.9%) 1,095名(8.0%)
- その他地域本部 56名(9.0%) 4,409名(32.3%)



情報工学部会の役割

【部会でのCPDのあり方】

- ・部門共通のテーマは日本技術士会として実施し、部会は専門的なテーマを扱うのを原則とする。
- ・技術部門内は細分化されているので、多くの人に関心を持ってもらえるように、ある程度範囲の広いテーマが望まれる。
- ・時には一般的なテーマも取り上げる。
- ・Pe-CPD、Web中継により、地域本部にも便宜を図る。



例会の内容

- ①通常部会(講演会)
曜日:第4金曜日(原則)
時間:18時30分~21時00分(企業内技術士が参加しやすい時間帯)
講演後、情報交換会を開催
- ②見学会
年1~2回程度、平日の午後に開催
- ③総会
5月の部会として開催
- ④一次試験/二次試験合格者歓迎会
1月/4月の部会として開催
- ⑤情報処理学会とのCPDコラボレーション
2008年度より新たに開始
年2~3回 土曜日の午後に開催(遠方の会員が参加できるように)
講座とワークショップ(グループ討議、発表、講評)
- ⑥地域本部へのWeb中継
2010年8月より3回実施

例会開催の記録(2010年8月～2011年11月)

月度	開催日	開催場所	内容
2010年8月	27日(金)	葦手第二CD 近畿支部、中国支部とWeb中	講演:「日本の出版産業と技術図書出版の現状－自著書を出すには－」 講師:(株)シーエムシー出版 専務取締役 小林 敏幸氏
9月	24日(金)	じばさん三重(四日市市) 5階 研修室5	テーマ:「情報工学はどこまでSFを実用化してきたか～工学の原点を見つめる～」 (1)基調講演「e-ビジネスの歴史と動向」 講師 工藤 司 氏(静岡理科大学 総合情報学部 人間情報デザイン学科 教授、技術士(情報工学部門)) (2)テーマについてのフリーディスカッション (3)各支部の現状報告、意見交換
10月	22日(金)	神奈川県産業技術センター (海老名市)	見学会:神奈川県産業技術センター 情報技術を活用した生産システム、電子デバイス・システム、CAD/CAMやナノ材料等の機械・材料等
11月	6日(土)	葦手第二AB	情報処理学会とのCPDコラボレーション テーマ:「SCQRMに基づくグラウンデッド・セオリー・アプローチの効果的活用法」 講義とワークショップ 講師:早稲田大学講師 西條剛央氏
2011年1月	28日(金)	葦手第二AB 近畿支部、中国支部とWeb中 継	講演:「ウェブブラウザLunandscapeの開発－研究から起業、その後の成功のポイントまで－」 講師:近藤 秀和 氏(Lunandscape株式会社 代表取締役社長 兼 CEO) 講演後一次試験合格者歓迎会
3月	5日(土)	葦手第二AB	情報処理学会とのCPDコラボレーション テーマ:「ネットワークセキュリティにまつわる最新動向」 講義とワークショップ 講師:武藤 佳恭氏(慶応大学環境情報学部教授)
4月	22日(金)	機械振興会館	講演:「起業家への招待 ー貴方の身近な可能性ー」 講師:大脇文雄氏(ジェネクス・ジャパン株式会社 代表取締役会長兼社長) 講演後二次試験合格者歓迎会
5月	27日(金)	葦手第二AB 近畿支部、中国支部とWeb中 継	総会:事業報告、会計報告、部会長選出 講演:「二次試験合格者の体験発表」 講師:大倉隆郎氏、川又千尋氏、傳寶充宏氏、中原俊政氏(平成21年度二次試験合格者)
6月	24日(金)	グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン(横須賀市)	見学会:グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン(横須賀市) 原子力発電の燃料を生産する工程を見学し、技術的な見地から原子力発電の今後の進むべき方向性を考える。
7月	16日(土)	機械振興会館	情報処理学会とのCPDコラボレーション テーマ「ITプロジェクトなぜなぜ5回(階)」 講師:小原由紀夫氏(富士通アドバンスドエンジニアリング システム技術本部)
8月	27日(土)	葦手第二CD	情報工学部会特別部会(日本技術士会 技術士全国大会関連行事) 講演:「クラウドコンピューティングとセキュリティ」 講師:徳丸浩氏(HASHコンサルティング株式会社 社長) パネル討論:徳丸浩氏、安田晃氏(環境省 最高情報セキュリティアドバイザー)、安達智雄氏(日本電気株式会社)、田中誠司氏(株式会社日立製作所)、コーディネーター:黒澤兵夫氏
9月	22日(木)	葦手第二AB	講演:「安全神話の崩壊とセキュリティ意識の変容」 講師:三林和美氏(株式会社セキュリティ産業新聞社 顧問)
10月	21日(金)	日立プラントテクノロジー 松戸ショールーム(松戸市)	見学会:日立プラントテクノロジー松戸ショールーム(千葉県松戸市) 環境・エネルギー関連の設備や機器、および研究施設の見学
11月	5日(土)	機械振興会館	情報処理学会とのCPDコラボレーション テーマ:「プロジェクトの早期段階におけるモデリングと規模見積もり」 講義とグループディスカッション 講師:児玉公信氏(情報システム総研副社長)

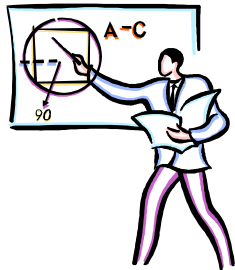


部会の様子

毎月一回、情報工学部会の例会を開催しています。原則として第4金曜日の18:30から21:00。場所はほとんどの場合、東京メトロ神谷町駅に近い日本技術士会の会議室です。

前半は技術士会内外、産官学の第一線で活躍中の技術者、研究者をお招きした講演会です。技術士に課された自己研鑽の場として、または、技術士を目指す修習技術者の学習の場として、最適の場を提供していると自負しております。テーマはネットワーク技術、情報セキュリティからICカード等の要素技術まで、特定分野に偏らず情報工学の中から幅広く選定しています。開発の苦労話、裏話や商業化の秘訣など、教科書では得られない生きた情報を得ることができます。

また、非常に少ない費用で参加できるのも魅力です。日本技術士会会員なら通常の例会の参加費は1000円程度です。（他のイベントと共催のときは異なります。）



2008年度は新たな取り組みとして、**情報処理学会**と共催での**CPDコラボレーション**を8月と11月に開催しました。「ソフトウェアテスト」「要求工学」といった基本的なテーマについて、講義とグループ討議、発表、講評という内容で充実感が得られます。

後半は情報交換会。例会の参加者は若い修習技術者からベテラン技術士まで、幅広い年齢、職業に渡っています。情報交換会はこれら参加者どうしの語らいの場です。缶ビール1本と少量のおつまみで1時間程度と簡単ではありますが、会員の皆様には、とても好評をいただいております。技術について、あるいは技術を取り巻く社会について、毎回、熱く語り合っています。我が国の情報技術を引っ張ってきた偉大な先輩達と知り合うチャンスでもあります。会員の職業を超えた情報交換会は、プロフェッショナル技術者の人脈作りにはかけがえのない場。日本技術士会入会の最大のメリットはこの情報交換会と言っても過言はないでしょう。



2008年9月度情報工学部会 講演会

情報工学部会



技術士会だから見学できる 「一流の現場」

見学会実績 (過去6年間に実施した見学会)

2009年9月	郵政事業(株)新東京支店 郵便物の仕分けシステム(区分機や搬送機器など)を見学
2009年2月	DOCOMO R&D Exhibition Hall「WHARF」
2008年2月	パナソニックセンター イーユーハウス(情報化住宅)見学
2007年6月	東京ガス 供給指令センター
2006年10月	東京湾アクアラインー海ほたる
2006年7月	ものづくり大学
2006年1月	清水建設技術研究所
2005年10月	防災科学技術研究所 川崎ラボラトリー
2004年11月	アット東京データセンター 最高ランクの情報セキュリティ・免震対策
2004年7月	NHK 渋谷放送センター 制作スタジオ見学、3Dハイビジョン視聴他
2003年10月	松下電工 汐留ビル 大型バーチャルリアリティドーム見学他

見学会の例

東京ガス 供給指令センター



供給指令センターの役割は、都市ガス製造工場への製造量変更指示、ガバナステーションやガスホルダー等への遠隔制御・供給操作・ガス圧力管理、非常災害(地震・大雨・洪水など)発生時の初動措置であり、都市ガス製造工場から地区ガバナまでの高・中圧導管ライン間で無線ネットワーク(DOPA採用)を活用し、統合遠隔コントロールしている。(監視システムはループ2重化、免振床採用)

例えば、外気温湿度変動がガス消費量に影響する夏場などは、気象情報を取入れて需要予測し、2~3%の誤差で制御している。

(「議事録」より抜粋。会員であれば議事録を自由に閲覧できます)



情報処理学会との CPDコラボレーション

第6回

日時: 2010年7月10日(土) 13時~17時
テーマ: 「クラウド・コンピューティングの可能性と課題」
講師: 中田敦氏(日経コンピュータ)
丸山不二夫氏(早大大学院客員教授)
東健二氏(日本電気)
岩崎明氏(郵便局(株))
内容: 講演とパネルディスカッション



第7回

日時: 2010年11月6日(土) 13時~17時
テーマ: 「SCQRMに基づくグラウンデッド・セオリー・アプローチの効果的活用法」
講師: 西條剛央氏(早稲田大学講師)
内容: 講演およびワークショップ



第8回

日時: 2011年3月5日(土) 13時~17時
テーマ: 「ネットワークセキュリティにまつわる最新動向」
講師: 武藤佳恭氏(慶応大学環境情報学部教授)
内容: 講演およびワークショップ



近畿支部・情報工学部会 ジョイントミーティング

1. 日時・場所

2009年3月7日(土)13:30～8日(日)12:00
京都府城陽市「プラムイン城陽」

2. 内容

[第1日] 年3月7日(土)13:30～17:00

(第1部テーマ)情報工学部門の技術士を再考する

1. 情報工学部会活動紹介(嶋田弘僧)
2. 関西情報技術士会紹介(庫本 篤)
3. 「情報工学部門技術士のビジネスプラン検討例」
(森末清成)
4. 「コンサルティング・ビジネス」(北村友博)
5. 「サイエンスカフェと子どもたちに残したいもの」
(竹野内勝次)
6. 「PEの生き方(企業人として学界人として)」
(柏原秀明)

○情報交換・懇親会(7日(土)夜)

[第2日] 3月8日(日)9:00～11:50

(第2部テーマ)ITならびにICTの最新技術

1. 「概念データモデリングと意味論」(金田重郎)
2. 「衛星を使ったデータ通信」(西山 勉)
3. 「ICTとBCMS(Business Continuity Management System)について」(黒澤兵夫)
4. 「NGNにおける企業通信NW」(中田晴雄)

情報工学部会





中部支部全国大会での情報工学部会

1. 日時:2010年9月24日(金) 13時00分～17時00分
2. 場所:じばさん三重(四日市市) 5階 研修室5
3. テーマ:「情報工学はどこまでSFを実用化してきたか
～工学の原点を見つめる～」
4. 内容:
 - (1) 基調講演
演題「e-ビジネスの歴史と動向」
講師 工藤 司 氏(静岡理科大学 総合情報学部
人間情報デザイン学科 教授、技術士(情報工学部門))
 - (2) テーマについてのフリーディスカッション
むかしSFに登場した、あるいはSFに限らず、一昔前は夢だった、あるいは考えられなかったことで、今は当たり前になっている技術について、みんなでアイデアを持ち寄り、ディスカッションしました。
 - (3) 各支部の現状報告、意見交換



情報工学部会



情報工学部会のWeb中継

他部会に先駆けて、8月度の情報工学部会を近畿本部、中国本部へのテレビ中継を実施しました。画像、音声ともに予想以上にクリアで概ね良好でした。

1. 日時: 2010年8月27日(金)18時30分～21時00分
2. 場所: 葺手第二ビル 5階 会議室CD:41名
および 近畿本部会議室: 6名
出席者 中国本部会議室: 10名

3. 内容

(1)情報工学部会 連絡事項(18:30～18:45)

(2)講演(18:45～20:00)

テーマ: 日本の出版産業と技術図書出版の現状－自著書を出すには－

講師: (株)シーエムシー出版 専務取締役 小林 敏幸氏

□その後、2011年1月度および5月度にもWeb中継を実施しました。

情報工学部会